

●パブリックコメント集計結果一覧表

対象事案の名称:小美玉市地域防災計画(改定案)

1. 意見提出者数 2人

提出方法	人数
郵送	
ファクシミリ	
電子メール	1
電子申請	
直接持参	1
合計	2

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見の内容	意見数	市の考え方(回答)
1	本編P15 指定公共機関について	楽天モバイルを使っているの追加をご検討をお願いします。	1	2022年(令和4年)2月1日付で、内閣府において災害対策基本法第2条第5号に基づく「指定公共機関」に指定されておりますので、追加いたします。 【反映箇所:第1編 総則 第4章 防災責任者の処理すべき事務又は業務の大綱P15】
	本編第10編 原子力災害対策計画について	原子力災害はおきたら終わってしまうので、旧型で津波浸水域の東海第2原発は稼働反対です。	1	本計画は、茨城県地域防災計画に基づき、原子力災害が発生した場合に、被害の軽減及び復旧のために関係機関がとるべき対策等について新規に記載したもので、再稼働の適否を判断するものではありませんので、ご理解いただきたく存じます。
	全般について	綿密な計画で作成大変だったと思いますが、普通の人間では覚えきれないですし、いざというときに使えなければ意味がなくなってしまうので、クラウド上のAIに学習させて緊急時に聞けばすかさず適切な回答を返してくれるようにすれば、ますます安心だと思いました。	1	AI(人工知能)は、社会、産業のさまざまな分野での導入に関心が寄せられています。既に一部の自治体では、職員の業務効率化や住民サービスの向上などにAIを活用しており、今後より多くの自治体でAIの導入が進められていくものと推測されます。 いただいたご意見は、計画を推進するうえでの参考にさせていただきます。
2	パブコメ作成に際して本改定案の元になる小美玉市地域防災計画を市のHP上で探したが見つからなかったが改定本編を見ると真っ赤でしたから大きな改定ということが理解できます。	本コメントを打つにあたり、直前に発生した能登地震の様子を逐次報道にて得ています。陸から突き出た半島部は三方が海で主な陸路が数少ないといわれていました。県当局も問題視していた中で起きた災害でありました。本パブコメと別に新まちづくり案もコメントを打ちました。使えないのはわかっているが地域防災にもっともおカネをかけてほしいと実感しています。 少し前に学校給食センター近くにバイオマス発電所をつくる計画を耳にしました。早すぎたのか漫画のようなためだったのかあつという間に消えてしまいました。そのなかでひとつ気になったことがありました。通常電源供給が途絶えたとき、給食センターに発電した電気を供給する計画が含まれていました。公共施設は災害時の電源確保が求められる中、良い視点と思いました。 数年前、町づくりには日頃の地域・地区の人間関係づくり・つながり強化といった視点で防災の必要性を学ぶ勉強を始めました。併せて早期復旧のためのBCPの必要性を感じています。 意見募集案件を見ると高齢者福祉・温暖化・障がい者関連もありました。いずれも防災と密接に関連しています。従って市役所でも担当課が一層横断連絡を密にして政策遂行していただきたいと思います。 私は昨年、仲間数人と防災を考えるボランティア団体をつくり、市内学校への出前講座などを行っています。防災士資格を取得しました。地域防災計画に沿った活動を進めていきたいと考えています。	1	2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、多くの地域で停電が発生しました。停電が解消されるまでに時間を要しており、停電発生から3日で約80%を解消し、8日で約94%が解消されましたが、停電期間は最長で約3か月にも及んでおります。このことから、災害時の業務継続性確保のためにも、電源確保の問題は非常に重要なことと捉えております。 また、ご指摘のとおり、防災に関しては当計画だけではなく、市の様々な計画が関連してきます。 特に、災害が発生した際には、高齢者や障がい者、乳幼児などの災害時要配慮者が犠牲となりやすいことから、関係部署が連携し、迅速に行動できるよう、平常時からその体制整備を図る必要があります。 いただいたご意見は、計画を推進するうえでの参考にさせていただきますので、引き続き地域防災へのご支援・ご協力をお願いいたします。
			4	